

映像の天才P・アルモドバル式スーパーH型ラブストーリー

超変態的純愛物語……？

# アタメ

ビクトリア・アブリル  
アントニオ・バンテラス  
ロレス・レオン  
フランシスコ・ラバル  
フリエタ・セラノ  
マリア・バランコ  
ロシー・テ・バルマ

製作総指揮: アグスティン・アルモドバル  
脚本: ペドロ・アルモドバル  
撮影: ホセ・ルイス・アルカイネ  
音楽: エンニオ・モリコーネ  
編集: ホセ・サルセド  
配給: 松竹富士株式会社  
オリジナルサウンドトラック (BMGビクター)

TIE ME UP! TIE ME DOWN!

# ATAME

ペドロ・アルモドバル監督作品

とじ込めて縛りつけても  
君をはなさない

リッキー23才—少々異常  
B級女優マリナはリッキーのアイドル  
好きで好きでたまらない!

# アタメ

## TIE ME UP! TIE ME DOWN!

# ATAME



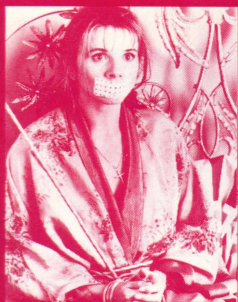
絶対注目！あっけにとられるほど

非常識で大胆不敵。(米・LAタイムス紙 ピーター・レイナー)

「神経衰弱ぎりぎりの女たち」「バチ当たり修道院の最期」等、話題作、問題作を次々に発表し、アカデミー賞をはじめ、多くの国際的な賞を受賞して、いま世界中の注目を集めている映像の天才ペドロ・アルモドバル。ヨーロッパ、アメリカで、大胆な性描写が物議をかもしながらも、内容的には大絶賛を博した彼の最新作「アタメ」が、遂に日本で公開される。

“アタメ”とは英訳すると“TIE ME UP! TIE ME DOWN!”、スペイン語で“私を縛って”の意味。“恋愛のドン・キホーテ”ともいえる男と、彼に監禁された女優との異常な交流をコミカルに見せるこの作品は、過激な描写と、辛辣なユーモアを散りばめながら、愛という名のロープで互いを縛り合っていく男女の姿が、極彩色を駆使して娯楽性豊かに描かれている。

出演は「溝の中の月」「マックス・モン・アムール」のビクトリア・アブリルと、“スペインのメル・ギブソン”と呼ばれて、ヨーロッパで人気上昇中のアントニオ・バンデラス。この一筋縄ではいかない“縛る純愛物語”を優しく包み込む音楽を担当したのは、「アンタッチャブル」「ニュー・シネマ・パラダイス」のエンニオ・モリコーネ。貴女に、このSEXはキワドすぎるかな……？



仏・ステューディオ誌

●ニシエル・ルビンソン

「アタメ」は狂熱的な愛の物語。ロマンチックなサスペンス。アルモドバルを映画マニアのアイドルから、巨匠への仲間入りをさせる決定的作品である。

米・プレイボーイ誌

●ブルース・ウィリアムソン

“神経衰弱ぎりぎりの女たち”の作者による、洗練された男と女の戦い。

思いがけないほどセクシィー！

英・タイムス紙

●テュクタ・ロウナン

才能あるストーリーテラーが、さらに磨かれたテクニクを披露した傑作！

**スタッフ**  
 製作総指揮……アグスティン・アルモドバル  
 脚本・監督 ……ペドロ・アルモドバル  
 撮影……ホセ・ルイス・アルカイネ  
 音楽 ……エンニオ・モリコーネ

**キャスト**  
 マリーナ……ビクトリア・アブリル  
 リッキー……アントニオ・バンデラス  
 ローラ ……ロレス・レオン  
 マキシモ ……フランシスコ・ラバル  
 アルマ ……フリエタ・セラノ  
 ペルタ ……マリア・バランコ  
 麻薬売人 ……ロシー・デ・パルマ

1990年/スペイン映画/カラー作品

## リッキー23才、少々異常

### 親なし、家なし、怖いものなし

3才で孤児になり、狂暴癖を装って精神病院で暮らしていた男リッキー(アントニオ・バンデラス)が、社会に出て行く日が来た。彼は今、強い決意を胸に秘めていた。普通人として暮らすために、結婚し、子供を持ち、仕事をしよう、と。

彼が自分の花嫁として白羽の矢を立てたのは、憧れのB級女優マリーナ(ビクトリア・アブリル)。彼女はかつて娼婦で、元ポルノ女優。リッキーは彼女に会うため、プレゼントを用意し、撮影スタジオに侵入。そこで相手にされなかった彼は、彼女のアパートに押し入り、「俺は23才。5万ペセタ持っていて、ひとりぼっちだ。俺はおまえの良き夫、子供の良き父親になりたい！」と一方的に宣言し、抵抗する彼女をベッドに縛りつけてしまう。その日から二人の奇妙な共同生活が始まる……。

## 新春衝撃のロードショー

特別鑑賞券 一般1300円/学生1100円/ペア券2300円発売中！

地下鉄東銀座下車

東

劇

(541)2711